

AVセレクターオート 取付/取扱説明書 AVS430Ⅱ



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>

Data System 株式会社 データシステム

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
AVS430-2010-AKN

保証について

- 付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印、およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。
- 保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」です。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書を参照してください。
※保証書はいかなる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。
※本体に貼付されている封印シールははがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から、修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

仕様

定格電圧	DC12V
消費電流	100mA以下
ヒューズ容量	1.5A
動作温度	-10℃～60℃(結露なきこと)
本体寸法	W110×H25×D70mm(突起部除く)

内容物一覧

- AVS430Ⅱ本体 x1
- 電源ハーネス x1
- AVケーブル(ミニプラグ) x1
- エレクトロタップ x2
- 取付/取扱説明書(本書) x1
- 両面テープ x1
- 保証書&ユーザー登録カード x1

別売品

- 切替スイッチ TSW002
 - 各種ビルトインスイッチ
※TSW012は除く。
適合品番につきまして別途ビルトインスイッチ適合表を参照ください。
- ※使用法は本書の裏面「切替スイッチ(別売)について」をご参照ください。

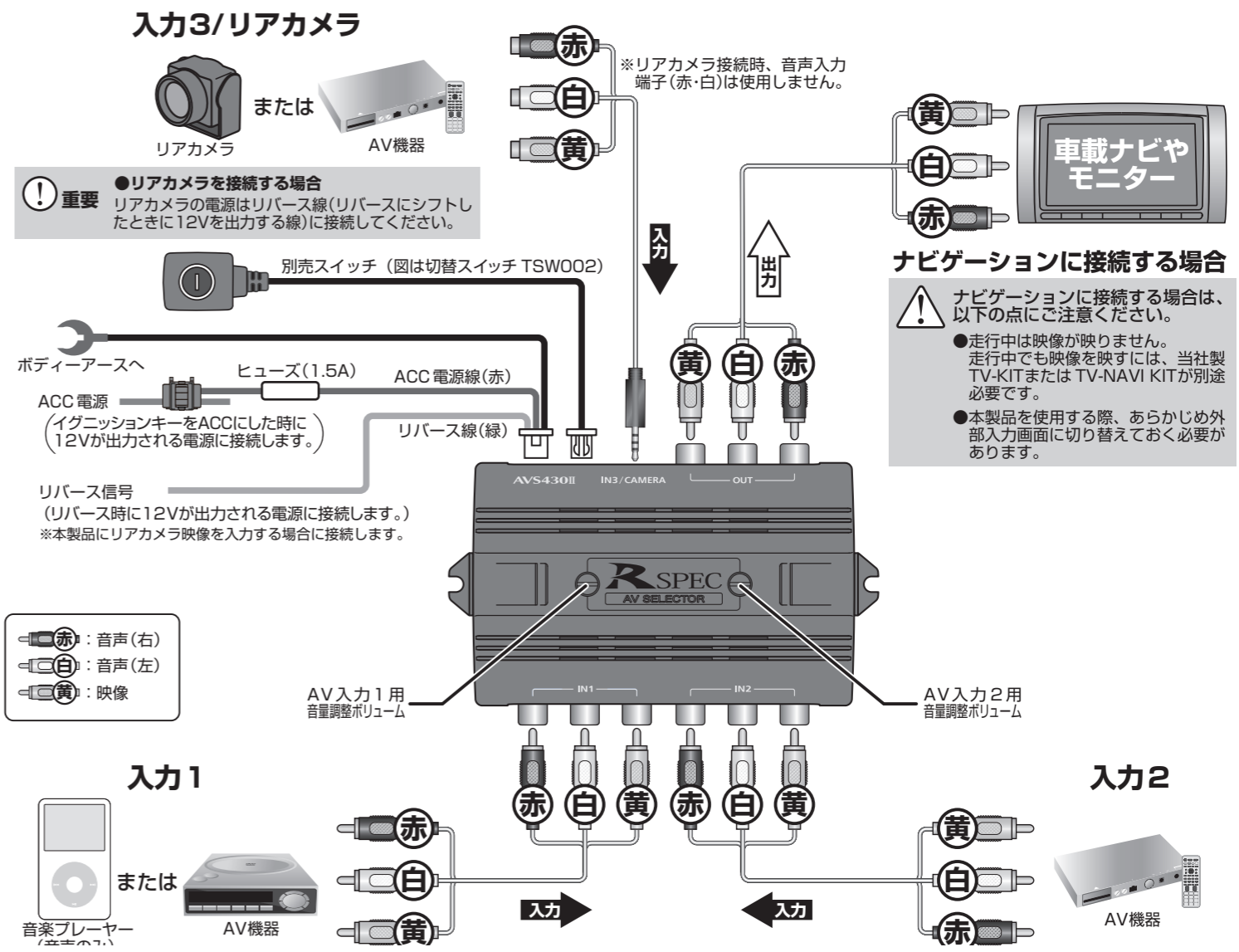
取り付け上の注意

- 本製品は12V車専用です。24V車には適合しません。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取り扱い業者でおこなってください。
- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本体は必要に応じて操作できる場所に設置してください。ただし、運転の邪魔にならないように設置してください。
- 電源ハーネスや切替スイッチの配線部分は強く引っぱらないでください。断線や接触不良の原因となります。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤動作・ノイズ発生などの原因となります。
- 付属の両面テープなどを使用して、必ず本体を車両に固定してください。また、使用中にケーブル類が引っ張られ本体から外れないよう、ケーブルの取り回しにご注意ください。
- 車両側および本製品の配線を傷つけたり、本体を变形させたりしないでください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

使用上の注意

- 本製品はNTSC規格のビデオ信号に対応しています。
- 本製品から出力される音量が大きすぎると、接続先で音割れが起こることがあります。再生機器の音量、または本製品の音量調整ボリュームを適切に調整してください。
- 他の電子機器・車両側のオルターネーター・ワイパーのモーターなどから発生するノイズの影響を受け、映像や音声が乱れることがあります。また入力が切り替わった時にも映像が乱れる場合があります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

各部の名称と取付概要図



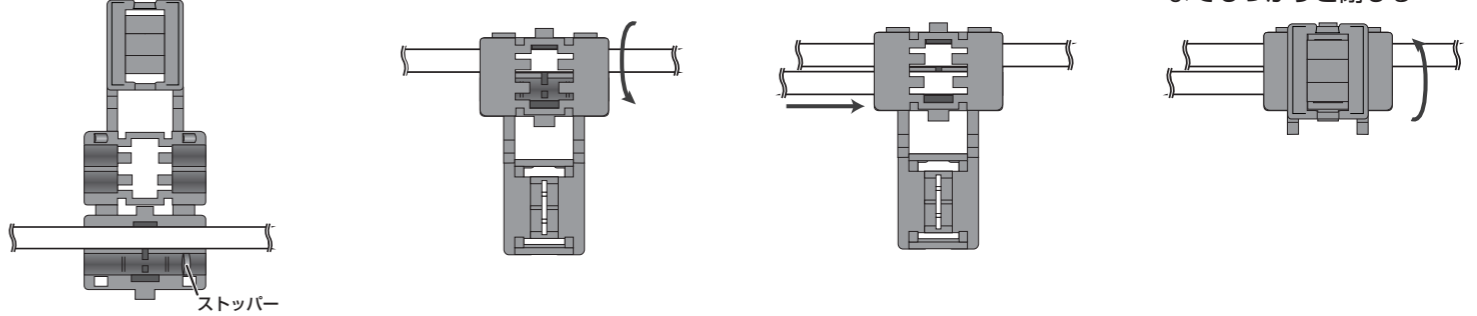
ナビゲーションに接続する場合

- ナビゲーションに接続する場合は、以下の点にご注意ください。
- 走行中は映像が映りません。走行中でも映像を映すには、当社製TV-KITまたはTV-NAVI KITが別途必要です。
 - 本製品を使用する際、あらかじめ外部入力画面に切り替えておく必要があります。

エレクトロタップの使い方

接続後、テスターなどで接続状況を確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。

1. 接続される車両側配線にエレクトロタップを合わせる
2. エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる
3. 接続する配線をエレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込む
4. エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる



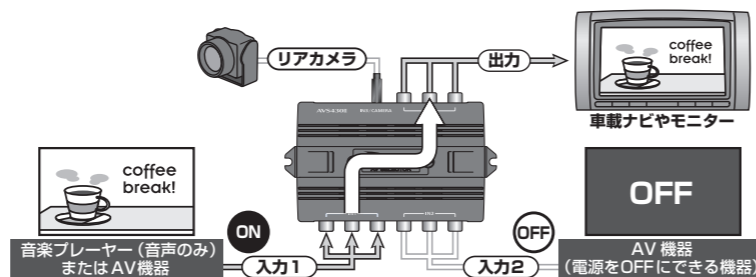
使用方法(オートモード)

- 重要**
- リアカメラの電源は、必ずシフトレバーの「R(リバース)」に連動する場所に接続してください。アクセサリ電源に接続した場合など、リアカメラの映像が常時出力される状態では、リアカメラの映像しか出力できません。
 - ナビゲーションに取り付けする場合には外部入力に接続しますので、外部入力選択時のみリバース連動でリアカメラに切り替わります。

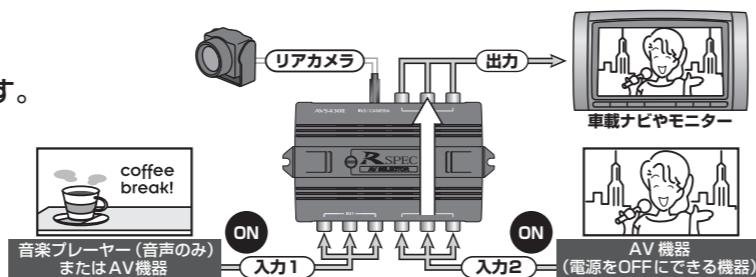
■入力3にリアカメラを接続する場合

- 音楽プレーヤー(音声のみの機器)を接続する場合は、「入力1」に接続してください。
- 「入力2」には電源をON/OFFすることができる機器を接続してください。

1. 「入力2」に接続されている機器がOFFの時は「入力1」を出力します。



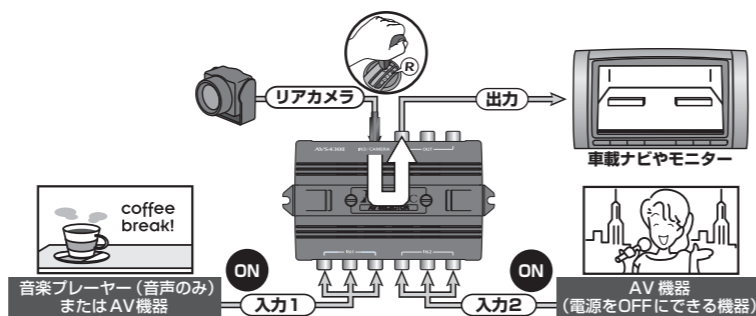
2. 「入力2」に接続されている機器がONになると、「入力2」を出力します。「入力2」の機器がOFFになると「入力1」に戻ります。



ポイント ●本製品は、映像信号の有無で入力の切り替えをおこないます。音声のみを入力しても切り替わりません。

3. シフトレバーを「R(リバース)」にシフトすると、強制的に「リアカメラ」を出力します*。

*音声は「リアカメラ」に切り替わる直前の入力のまま、切り替わりません。



■音量の調整

1. マイナスドライバーを準備し、入力1/入力2の音量調整ボリュームを回して音量を調整します。

2. 時計方向に回すと音量が大きくなり、半時計方向に回すと音量が小さくなります。

ポイント ●本機の接続先(ナビなど)自身で再生したラジオやCDなどの音量と、本機に接続した機器の音量が合うように調整しておく、本機からラジオやCDに切り替えたときに音量を再調整する必要がなくなり便利です。

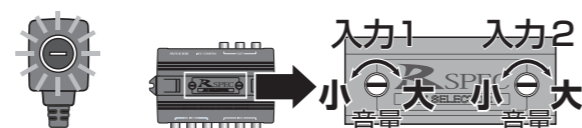


- 重要**
- モニター側の音量と併用して調整してください。
 - 音量を上げすぎると音割れる場合があります。適切な音量に調整してください。
 - 「入力3」の音量は調整できません。
 - 調整ボリュームは軽く回してください。強く回し過ぎると調整ボリュームが破損します。
 - 左にいっぱい回し切ると、入力された音量と同じになります。

■オーバーレベルインジケータ機能(別売)

- 「ボリュームを回して音量を上げ過ぎると、音のひずみが発生します。ひずみそうなレベルになると、切替スイッチ(別売)のランプが点滅してお知らせします。(音声に合わせて点滅)ランプが安定して点灯するように製品のボリュームを調整して音量を下げてください。

切替スイッチ装着時

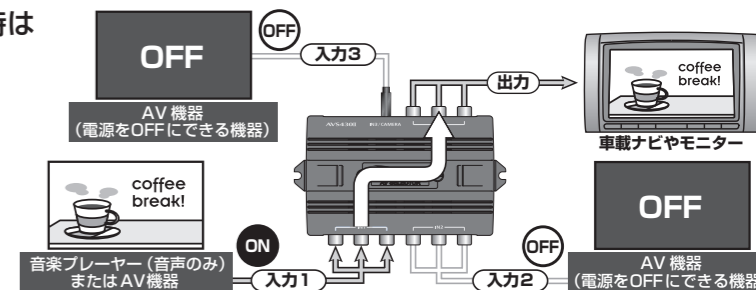


■AV機器を3台接続する場合

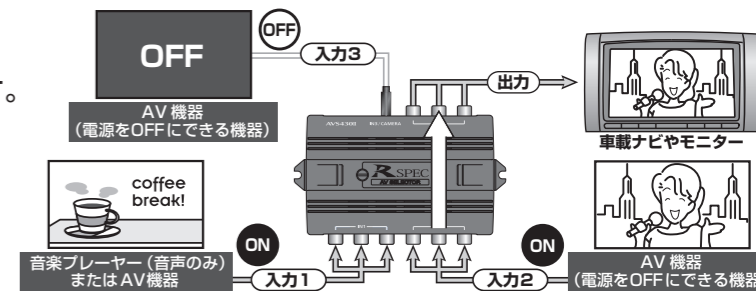
- 重要**
- リバース線(緑線)は接続しないでください。(「各部の名称と接続概要図」参照)
 - リバース線を接続すると、シフトレバーを「R(リバース)」にシフトしたときに強制的に「入力3」に切り替わってしまいます。※映像のみ

- 「入力2」「入力3」には電源をON/OFFすることができる機器を接続してください。
- 音楽プレーヤー(音声のみの機器)を接続する場合は、「入力1」に接続してください。また、音楽プレーヤーを2台以上接続するときは、別売の切替スイッチまたは各種ビルトインスイッチ(TSW012は除く)をご使用ください。

1. 「入力2」「入力3」に接続されている機器がOFFの時は「入力1」を出力します。

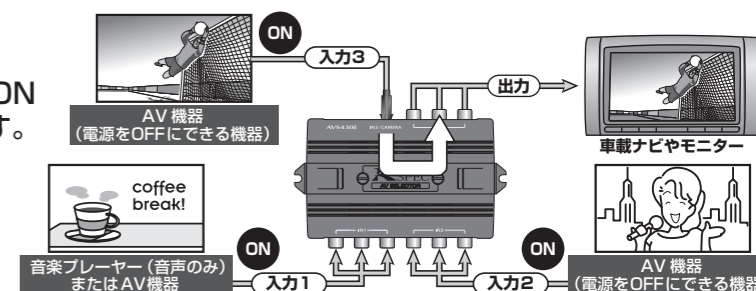


2. 「入力2」に接続されている機器がONになると、「入力2」を出力します。「入力2」の機器がOFFになると「入力1」に戻ります。



ポイント ●本製品は、映像信号の有無で入力の切り替えをおこないます。音声のみを入力しても切り替わりません。

3. 「入力3」に接続されている機器がONになると、「入力3」を出力します。「入力3」の機器がOFFになると、「入力2」の機器がONの時は「入力2」に、OFFの時は「入力1」を出力します。



ポイント ●映像入力の優先順位は入力3>入力2>入力1です。

使用方法(マニュアルモード)

別売の切替スイッチTSW002または各種ビルトインスイッチ(TSW012は除く)を接続すると、手動で映像を切り替えることができます。切替スイッチ使用中は、スイッチランプが点灯/点滅して動作状況をお知らせします。

1. オートモード中に切替スイッチを押すとマニュアルモードに切り替わり、入力1→入力2→入力3→入力1・・・の順に切り替わります。

*選択した入力、イグニッションスイッチをOFFにしても記憶しています。

2. 切替スイッチを2秒以上押し続けると、オートモードに戻ります。

スイッチランプについて

切替スイッチTSW002(別売)または各種ビルトインスイッチ(TSW012は除く、別売)を接続すると、本製品動作中はスイッチランプが常時点灯します。入力が切り替わると、スイッチランプの点滅で動作状況をお知らせします(点滅はオートモード/マニュアルモード共通)。

【入力1切替時】	【入力2切替時】	【入力3切替時】	【オートモード復帰時】
1回点滅 x3回	2回点滅 x3回	3回点滅 x3回	早い点滅

リバース線を接続している場合、シフトレバーを[R]にシフトしている間、スイッチランプが1秒間隔で点滅します。

